

沿岸域における工学的課題への非構造格子海洋流動モデルの改良および適用性に関する研究

山縣, 史朗

<https://hdl.handle.net/2324/4784597>

出版情報 : Kyushu University, 2021, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	山縣 史朗			
論文名	沿岸域における工学的課題への非構造格子海洋流動モデルの改良および適用性に関する研究			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	橋本 典明
	副査	九州大学	教授	山城 賢
	副査	九州大学	教授	笠間 清伸

論文審査の結果の要旨

本研究は、沿岸域の防災、環境、利用に関わる様々な工学的課題に適用可能な汎用的な非構造格子海洋流動モデルを基に、波浪、人工構造物、漂流物などの影響を考慮可能な改良を行い、その適用性を検討したものである。本研究の成果は、気候変動下における沿岸水域の持続可能な管理や施策を検討する上で有用であり、海岸工学上価値ある成果である。よって本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。